

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	交通安全施設の整備	事業番号、事業名	88 県単 交通安全(一種)				補助・単独別		単独	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
1	かりやどこ (一)借宿小 もろせん 諸線 おたい 小田井 〔御代田町〕	歩道設置工 L=130m W=3.5m 〔工期:H20~H25〕	用地補償 一式	休止	歩道設置工 L=130m	必要性 B	25%	一部地権者の同意が得られず遅れている。	通学路であり、歩行者の安全を確保するため、先線の橋梁部の歩道計画と併せ、整備する必要がある。	歩道整備の必要性は認められる。	「休止」	
					重要性 B	特記事項 H22年度計画変更。延長80m増、事業費1千万円増、工期2年増。						
					効率性 A	市道までの間について通学路の連続性を確保する。H22年度地権者の同意が得られず事業見送り、先線橋梁の歩道計画と併せ整備することとしH23年度は休止とする。						
		3000万円	0円	0円	2250万円	緊急性 B						住民参加状況等 沿道美化運動を地区で実施している。
2	しおなださくせ (一)塩名田佐 ん久線 あさまびょういんにし 浅間病院西 〔佐久市〕	歩道設置工 L=60m W=2.5m 〔工期:H22~H23〕	用地補償 一式	歩道設置工 L=60m	歩道設置工 L=60m	必要性 A	81%	計画どおり進んでいる。H22年度は用地補償が完了し、H23年度は歩道設置工事を実施する。	歩道中抜け区間であり、病院通院者の安全を確保するため、早期の歩道整備が必要であり、平成23年度の完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
					重要性 C	特記事項 特になし。						
					効率性 A							
		2580万円	2080万円	500万円	500万円	緊急性 A						住民参加状況等 特になし。
3	しんでんしん (一)真田新 でんせん 田線 わでぐみ 上手組 〔上田市〕	歩道設置工 L=750m W=2.0m 〔工期:H20~H28〕	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=400m	必要性 B	60%	計画どおり進んでいる。H22年度までに350mの歩道が完了し、H23年度は引き続き歩道設置工事を実施する。	通学路に指定されており、緊急性が高い。歩行者の安全確保のため早期の歩道整備が必要である。	緊急性は認められる。	「継続」	
					重要性 C	特記事項 特になし。						
					効率性 C							
		9000万円	1300万円	1000万円	3600万円	緊急性 A						住民参加状況等 特になし。
4	まるこしん (主)丸子信 しゅうしんせん 州新線 ならもと 奈良本 〔青木村〕	歩道設置工 L=1,100m W=2.5m 〔工期:H15~H24〕	用地補償 一式 歩道設置工 L=100m	用地補償 一式 物件調査 一式	歩道設置工 L=190m	必要性 A	71%	計画どおり進んでいる。H22年度は2期工区の歩道が完了し、H23年度は3期工区の用地補償を実施する。	小学校の通学路であり、歩行者の安全確保のため、歩道整備を図る必要がある。	必要性、重要性が認められる。	「継続」	
					重要性 A	特記事項 特になし。						
					効率性 B							
		1億6000万円	3100万円	1000万円	4600万円	緊急性 B						住民参加状況等 特になし。

番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
5	<small>ならかわおか</small> (一) 檜川岡谷 <small>やせん</small> 線 ました 間下 〔岡谷市〕	歩道設置工 L=90m W=2.0m [工期:H22~H23]	用地補償 一式	歩道設置工 L=90m	歩道設置工 L=90m	必要性 A	62%	計画どおり進んでいる。 H22年度までに用地補償が完了し、H23年度は歩道設置工事を実施する。	通学路に指定されており、必要性が高い。歩道中抜け区間であり、通学児童が危険にさらされているため、早期の歩道整備が必要であり、平成23年度の完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		1300万円	800万円	500万円	500万円	重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 B					
						緊急性 B		住民参加状況等 特になし。			
6	<small>よちた</small> (一) 与地辰 <small>つのせん</small> 野線 にしみのわ 西箕輪 〔伊那市〕	交差点改良工 L=360m W=6.0(12.0)m [工期:H22~H24]	詳細設計 一式 用地補償 一式	交差点改良工 L=80m	交差点改良工 L=360m	必要性 A	26%	計画どおり進んでいる。 H22年度に一部用地補償が完了し、H23年度は交差点改良工事を実施する。	通学路に指定され、歩道中抜け区間で、通学児童が危険にさらされている変則交差点であるため、早期の交差点整備が必要である。	緊急性が高く、必要性も認められる。	「継続」
		6800万円	1760万円	2800万円	5040万円	重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A					
						緊急性 A		住民参加状況等 特になし。			
7	<small>いじまいだ</small> (主) 飯島飯田 <small>せん</small> 線 かみくるだ 上黒田 〔飯田市〕	歩道設置工 L=50m W=2.0m [工期:H22~H24]	詳細設計 一式	用地測量 一式	歩道設置工 L=50m	必要性 A	7%	計画どおり進んでいる。 H22年度に設計が完了し、H23年度は用地測量を実施する。	通学路に指定され、歩道中抜け区間で、通学児童が危険にさらされているため、早期の歩道整備が必要である。	必要性が高く、重要性も認められる。	「継続」
		3000万円	200万円	500万円	2800万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 B					
						緊急性 C		住民参加状況等 特になし。			
8	<small>きそふくし</small> (一) 木曾福 <small>まていこまがたけ</small> 島(停)駒ヶ岳 <small>せん</small> 線 やざわ いや 八沢~伊谷 〔木曾町〕	歩道設置工 L=1,150m W=2.0m [工期:H18~H24]	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=50m	歩道設置工 L=1,050m	必要性 A	15%	一部用地について地元との調整をしている。 H23年度は引き続き歩道工事を実施する。	養護学校の生徒が危険にさらされ通学路に指定されているため、早期の歩道整備が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
		1億5000万円	600万円	300万円	1億2775万円	重要性 C	特記事項 特になし。				
						効率性 A					
						緊急性 A		住民参加状況等 特になし。			

番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
9	<small>まるこしん</small> (主)丸子信 <small>しゅうしんせん</small> 州新線 <small>やまぎき</small> 山崎 〔筑北村〕	歩道設置工 L=470m W=2.0m [工期:H22~H26]	詳細設計 一式	用地測量 一式	歩道設置工 L=470m	必要性 A	9%	計画どおり進んでいる。 H22年度に設計が完了し、H23年度に用地測量を実施する。	通学路に指定されており、通学児童が危険にさらされているため、歩道整備が必要である。	必要性は認められる。	「継続」	
						重要性 C						特記事項 特になし。
						効率性 A						
						緊急性 C						
10	<small>のりくらだけ</small> (主)乗鞍岳 <small>せん</small> 線 <small>ばんどころ</small> 番所 〔松本市〕	歩道設置工 L=650m W=2.5m [工期:H19~H26]	用地測量 一式	用地測量 一式	歩道設置工 L=650m	必要性 A	9%	一部用地について地元と調整をしている。 H23年度は用地測量を実施する。	歩道中抜け区間であり通学児童が危険にさらされているため、歩道整備が必要である。	必要性は認められる。	「継続」	
						重要性 C						特記事項 H22計画変更、延長150m減。 歩道設置箇所を地区と調整し、通学路のみとし延長を減とした。 H22歩道設置について地元と調整がつかず、事業を見送りとした。 H23計画変更、工期2年増。
						効率性 A						
						緊急性 C						
11	<small>ありあけおお</small> (一)有明大 <small>まちせん</small> 町線 <small>こうど</small> 神戸 〔松川村〕	歩道設置工 L=470m W=2.5m [工期:H15~H23]	用地補償 一式	歩道設置工 L=60m	歩道設置工 L=60m	必要性 B	88%	一部用地について地権者と調整をしている。 H23年度は歩道設置工事を実施し完了を図る。	小学校の通学路であり、歩行者の安全確保のため、歩道整備を図る必要があり、H23年度完了を図る	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 C						特記事項 H22年度地権者と用地補償の調整がつかず事業を見送りとした。
						効率性 A						
						緊急性 C						
12	<small>かみむろが</small> (一)上室賀 <small>さかき</small> 坂城(停)線 <small>たまち</small> 田町 〔坂城町〕	歩道設置工 L=210m W=1.5m [工期:H21~H24]	歩道設置工 L=40m	歩道設置工 L=40m	歩道設置工 L=170m	必要性 B	26%	計画どおり進んでいる。 H22年度から歩道設置工事に着手し、H23年度は引き続き工事を実施する。	歩行者の安全確保のため橋梁補修工事とあわせ、早期の歩道整備が必要である。	緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性 B						特記事項 跨線橋の橋梁補修工事と共に実施する。
						効率性 A						
						緊急性 A						

分野	交通安全施設の整備	事業番号、事業名	88 県単 交通安全(一種)				補助・単独別		単独	建設部道路管理課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
13	ふりがな (主)須坂中 かのせん 野線 あらいはら 荒井原 〔高山村〕	歩道設置工 L=520m W=2.5m 〔工期:H19~H24〕	歩道設置工 L=50m	歩道設置工 L=50m	歩道設置工 L=470m	必要性 A	28%	計画どおり進んでいる。 H22年度から歩道設置工事に着手し、H23年 度は引き続き工事を実施する。	小学校の通学路であ り、歩行者の安全確保 のため、歩道整備を 図る必要がある。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」	
						重要性 C						特記事項 特になし。
						効率性 A						
		1億2000万円	2300万円	2400万円	8600万円	緊急性 A	住民参加状況等 住民による除雪がなされている。					
14	(一)宮村湯 だなか てい せん 田中(停)線 さむさわ 寒沢 〔山ノ内町〕	歩道設置工 L=680m W=2.0m 〔工期:H18~H25〕	用地測量 一式	用地補償 一式 物件調査 一式	歩道設置工 L=680m	必要性 A	23%	H22年度に用地測量が完了し、H23年度は用 地補償を実施する。	小学校の通学路であ り、歩行者の安全確保 のため、歩道整備を 図る必要がある。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 特記なし。
						効率性 A						
		8000万円	360万円	700万円	6150万円	緊急性 B	住民参加状況等 アダプトシステムによる沿道美化活動を実施している。					
	合計	10億9080万円	1億4350万円	1億2300万円	7億485万円							